

**株式会社 テー・オー・ダブリュー**

**平成23年6月期  
第2四半期 決算説明会**

**東証1部 4767**

**本プレゼンテーションには**

**平成23年2月4日現在の経営陣の将来に関する**

**前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。**

**社会・経済・競合状況の変動等に関わる**

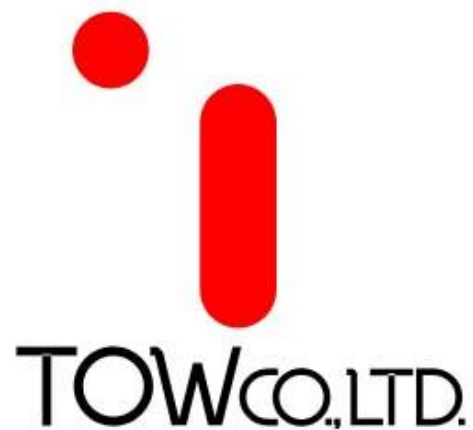
**リスクや不確定要因により、実際の業績が**

**記載の予測と異なる可能性があります。**

**平成23年6月期 第2四半期決算の概要**

**平成23年6月期 第2四半期決算の傾向**

**今後の対策**



**代表取締役会長兼社長  
川村 治**

# 平成23年6月期 第2四半期決算の概要

# 平成23年6月期 第2四半期決算の概要(連結)

	前第2四半期累計期間 (21年12月)		当第2四半期累計期間(計画) (22年12月)※		当第2四半期累計期間 (22年12月)			通期の見通し (23年6月)※		前期 (22年6月)	
		構成比		構成比		構成比	計画比		構成比		構成比
売上高	6,966	100.0%	5,660	100.0%	5,799	100.0%	102.4%	12,406	100.0%	12,575	100.0%
売上総利益	848	12.2%	699	12.3%	751	13.0%	107.4%	1,645	13.3%	1,523	12.1%
販管費	448	6.4%	416	7.3%	396	6.8%	95.2%	833	6.7%	852	6.8%
営業利益	399	5.7%	283	5.0%	355	6.1%	125.3%	811	6.5%	671	5.3%
営業外損益	1	0.0%	▲4	-0.1%	▲3	-0.1%	75.0%	▲6	0.0%	▲1	0.0%
経常利益	400	5.7%	280	4.9%	352	6.1%	125.7%	805	6.5%	670	5.3%
特別損益	-	-	▲17	-0.3%	▲16	-0.3%	94.1%	▲17	-0.1%	▲1	0.0%
税金等調整前四半期 (当期)純利益	400	5.7%	262	4.6%	335	5.8%	127.9%	788	6.4%	669	5.3%
法人税、住民税及び事業税	150	2.2%	97	1.7%	126	2.2%	129.9%	384	3.1%	321	2.6%
法人税等調整額	33	0.5%	59	1.0%	62	1.1%	105.1%	9	0.1%	▲8	-0.1%
少数株主利益	-	-	0	0.0%	1	0.0%	-	6	0.0%	-	-
四半期(当期)純利益	216	3.1%	104	1.8%	146	2.5%	139.8%	387	3.1%	357	2.8%

(単位:百万円)

※平成22年12月15日に業績予想の修正を発表しております。

# 平成23年6月期 第2四半期決算の概要(個別)

	前第2四半期累計期間 (21年12月)		当第2四半期累計期間(計画) (22年12月)※		当第2四半期累計期間 (22年12月)			通期の見通し (23年6月)※		前期 (22年6月)	
		構成比		構成比		構成比	計画比		構成比		構成比
売上高	6,917	100.0%	5,385	100.0%	5,521	100.0%	102.5%	11,635	100.0%	12,317	100.0%
売上総利益	805	11.6%	636	11.8%	674	12.2%	106.0%	1,458	12.5%	1,410	11.4%
販管費	439	6.3%	391	7.3%	372	6.7%	95.1%	780	6.7%	824	6.7%
営業利益	365	5.3%	245	4.5%	301	5.5%	122.8%	678	5.8%	585	4.7%
営業外損益	83	1.2%	47	0.9%	48	0.9%	102.1%	46	0.4%	84	0.7%
経常利益	449	6.5%	292	5.4%	349	6.3%	119.3%	724	6.2%	669	5.4%
特別損益	-	-	▲ 17	-0.3%	▲ 16	-0.3%	94.1%	▲ 17	-0.1%	▲ 1	0.0%
税金等調整前四半期 (当期)純利益	449	6.5%	275	5.1%	333	6.0%	121.1%	707	6.1%	669	5.4%
法人税、住民税及び事業税	142	2.1%	88	1.6%	111	2.0%	126.1%	329	2.8%	287	2.3%
法人税等調整額	28	0.4%	52	1.0%	53	1.0%	101.9%	6	0.1%	▲ 8	-0.1%
四半期(当期)純利益	278	4.0%	135	2.5%	168	3.0%	124.6%	371	3.2%	390	3.2%

(単位:百万円)

※平成22年12月15日に業績予想の修正を発表しております。

# 財政状態・経営成績(連結)

	前期 (22年6月末)	当第2四半期末 (22年12月末)	前期比		前第2四半期累計期間 (21年12月)	当第2四半期累計期間 (22年12月)	前期比
総資産	8,457	8,506	0.6%増	売上高	6,966	5,799	16.8%減
純資産	5,152	5,112	0.8%減	営業利益	399	355	11.1%減
自己資本 比率	60.9%	60.1%	—	経常利益	400	352	12.1%減
1株当たり 純資産	447円39銭	446円32銭	1円07銭減	四半期純利益	216	146	32.4%減
期末発行済 株式数	11,511,765株	11,447,305株	—	1株当たり 四半期純利益	18円83銭	12円76銭	6円07銭減

(単位:百万円)

※1株当たり純資産については期末発行済株式数を、1株当たり四半期純利益については期中平均株式数を用いております。



# キャッシュ・フロー計算書(連結)

	前第2四半期累計期間(21年12月)	当第2四半期累計期間(22年12月)	前期(22年6月末)
I.営業活動によるキャッシュ・フロー	144	※1▲266	790
II.投資活動によるキャッシュ・フロー	▲108	▲17	※2▲150
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲183	※3▲192	▲372
IV.現金及び現金同等物の増加額	▲148	▲476	268
V.現金及び現金同等物期首残高	1,942	2,210	1,942
VI.現金及び現金同等物の期末残高	1,794	1,734	2,210

※1 未収入金(ファクタリング債権)の増加額(△)640百万円が含まれております。(単位:百万円)

※2 本社移転に係わる有形固定資産の取得費66百万円、投資有価証券の取得(ジェイコムホールディングス(株)ほか)による支出140百万円、および保険の解約による収入90百万円が含まれております。

※3 配当金の支払額184百万円および子会社の借入金の返済7百万円が含まれております。

# 平成23年6月期 第2四半期決算の傾向

これまでの環境

「総広告費削減。プロモーションも減少」

現在の状況

一部広告会社に回復の兆しが見られるものの、  
当社を取り巻く市場環境は、依然として厳しい状況が続いている

**営業強化、提案強化等、新たな施策への継続的取り組みが必要。**

## 小、中型案件は動き出したが、大型案件は減少傾向

	前々第2四半期累計期間 (20年12月)	(21年1月～6月)	前第2四半期累計期間 (21年12月)	(22年1月～6月)	当第2四半期累計期間 (22年12月)	前期 (22年6月)
～1,000万円	481	424	490	530	543	1,020
1,000万円～2,000万円	85	67	76	82	84	158
2,000万円～5,000万円	78	51	51	34	49	85
5,000万円～1億円	23	21	19	11	9	30
1億円～	4	6	9	6	5	15
合計	671	569	645	663	690	1,308

(単位:件数)

## 前期に引き続き、指定・自主提案案件は増加傾向

	前第2四半期累計期間 (21年12月)		当第2四半期累計期間 (22年12月)		前期 (22年6月)	
	件数	売上高	件数	売上高	件数	売上高
競合	258件	3,207	142件	1,789	428件	4,873
提案	101件	774	185件	1,235	221件	1,935
指定	286件	2,894	363件	2,449	659件	5,418
合計	645件	6,875	690件	5,474	1308件	12,227

※企画売上高は除く

(単位:百万円)

全体の企画本数は、やや下がったものの  
企画勝率は回復傾向

企画競合(竹・梅)案件	前第2四半期累計期間 (21年12月:7月~12月)	前第3・4四半期累計期間 (22年1月~6月)	当第2四半期累計期間 (22年7月~12月)
全体企画本数	1,547	1,497	1,485
制作移行案件 獲得数	346	339	396
勝率	22.4%	22.6%	26.7%

(単位:件数)

「食品・飲料・嗜好品」、「化粧品・トイレットリー」が増加したものの、これまでの柱であった「自動車」が大幅減

	前第2四半期累計期間 (21年12月)	構成比	当第2四半期累計期間 (22年12月)	構成比	前期(22年6月)	構成比
情報・通信	1,836	26.7%	1,716	31.3%	3,627	29.7%
食品・飲料・嗜好品	511	7.4%	650	11.9%	1,075	8.8%
化粧品・トイレットリー	498	7.2%	664	12.1%	875	7.2%
自動車	1,505	21.9%	391	7.1%	2,419	19.8%
精密機器その他製造	496	7.2%	540	9.9%	919	7.5%
官公庁・団体	727	10.6%	293	5.4%	957	7.8%
金融	183	2.7%	174	3.2%	386	3.2%
流通・小売	355	5.2%	374	6.8%	652	5.3%
その他	762	11.1%	668	12.2%	1,313	10.7%
合計	6,875	100.0%	5,474	100.0%	12,227	100.0%

※企画売上高は除く

(単位:百万円)

前第2四半期の大型案件である海のエジプト展・横浜開港150周年記念テーマイベント(Y150)を補う受注ができず

	前第2四半期累計期間(21年12月)	当第2四半期累計期間(22年12月)
イベント	博展	852
	文化・スポーツ	233
	広報	1,336
SP	販促	3,886
	制作物	567
	合計	6,875
		5,474

※企画売上高は除く

(単位:百万円)



# 平成23年6月期予想(連結)

	平成22年6月期	平成23年6月期	
			前期比
売上高	12,575	12,406	1.4%減
売上総利益	1,523	1,645	8.0%増
営業利益	671	811	20.9%増
経常利益	670	805	20.1%増
特別損益	▲ 1	▲ 17	-
当期純利益	357	387	8.6%増

(単位:百万円)

## 下期受注残(A・B・松)は増加 企画案件(竹・梅)獲得に一層注力

	平成22年6月期 (平成22年2月4日時点)	平成23年6月期 (平成23年2月4日現在)
下期受注残高 (A・B・松の合計)	4,078	4,212
竹・梅の合計	5,636	3,610
売上高(上期・下期合計)	12,317	11,635

(単位:百万円)

- A : イベントの規模(金額)、実施時期等が決定している案件
- B : 金額、実施時期等に不確定要素のある案件
- 松 : 当社がほぼ受注する見込みにある案件(80%以上の確度)
- 竹 : 企画競合案件のうち、当社が受注する確度の高い案件(50%以上の確度)
- 梅 : 企画競合案件

# 今後の対策

## 4マス媒体の影響力はさらに低下、 プロモーション領域への期待は明らか

(百万円)

	4媒体 売上高	前年比	4媒体以外 売上高	前年比
平成18年	3,666,800	98.2%	3,273,100	106.2%
平成19年	3,569,900	97.4%	3,449,200	105.4%
平成20年	3,299,500	92.4%	3,393,100	98.4%
平成21年	2,828,200	85.7%	3,094,000	91.2%

「広告と経済・媒体別売上上位30社(平成22年5月1日発行)」より

# 業績回復と成長基盤の再整備

# ワンストップ体制と提案力強化

1

ノベルティ強化

販促商品の開発

ツール制作

施設

3

店頭強化

販促強化

プロモーション企画

PR

口コミ

プロモーション  
メディア

Web

事務局

イベント

2

Web強化

対応力強化

## ①ノベルティ強化

### 「(株)トランザクション」との業務提携

⇒独創性の高いカスタムメイド製品やオリジナル製品を企画から販売までワンストップで実施

#### 業務提携

(1)ノベルティグッズを中心とした懸賞キャンペーンの  
共同営業、顧客獲得、提案、制作

(2)販促商品の開発、共同営業、顧客獲得  
提案、制作

#### (株)トランザクション

ジャスダック(証券コード:7818)

- 設立 :昭和62年1月
- 売上高 :74億円  
(平成22年8月期:連結)
- 代表者 :石川 諭
- 従業員数:341名  
(平成22年8月31日現在:連結)
- 事業内容:  
エコ雑貨、ヘルスケア雑貨、一般雑貨製品  
を中心とした企画・デザインから製造・品質  
管理・販売までの雑貨事業を営むグループ  
企業の経営管理

## ②Web強化

現在、数社との業務提携について検討中

### A社

#### 『企画力』に強み

■設立 : 平成10年8月

■売上高 : 17億円

■従業員数 : 109名

#### ■制作実績:

最新のデジタル技術やツール(iPhoneアプリ・SNS・デジタルサイネージ)を利用した企画アイデアを開発し、ユーザーを魅了する“コミュニケーション”の制作に強みを持つ。

ロンドン国際広告祭、iPhone・iPadアプリ大賞等、様々な賞を受賞。

### B社

#### 『プロデュース力』に強み

■設立 : 平成17年12月

■売上高 : 3億円

■従業員数 : 7名

#### ■制作実績:

プロデュースを専門に行う会社。経験豊富なプロデューサーが在籍し、ウェブだけでなく、撮影やシステムディレクションなども行える。

企業ウェブ・グランプリ、JPPプロモーション・プランニング・アワード等、様々な賞を受賞。

### C社

#### 『制作、運用力』に強み

■設立 : 平成11年5月

■売上高 : 7.7億

■従業員数 : 86名

#### ■制作実績:

単なるサイト構築だけでなく、サーバー(システム構築含む)、事務局、アプリなどの実績を多数持つ、安定的な対応力のあるウェブ制作会社。

システム開発を行ったキャンペーンサイトが、カンヌ国際広告祭、東京インタラクティブ・アド・アワードを受賞するなど、様々な賞を受賞



## ③店頭強化

### 「ジェイコムホールディングス(株)」との資本・業務提携

#### 業務提携

- (1)共同営業開発
- (2)新プロモーションシステム開発
- (3)新コンテンツ開発

#### 資本提携

相互に約1億円規模の資本参加

#### ジェイコムホールディングス(株)

東証一部(証券コード:2462)

- 設立 :平成5年9月
- 売上高 :135億円  
(平成22年5月期:連結)
- 代表者 :岡本 泰彦
- 従業員数:157名  
(平成22年5月末日現在:連結)
- 事業内容:
  - ・営業支援サービス
  - ・就職支援サービス
  - ・人材派遣サービス
  - ・マルチメディアサービス

